

富桑まちづくりだより

富

第14号

交流・共感・共生

まちづくり協議会	2~4	民生・児童委員協議会	12
富桑地区自治会	5	健康づくり推進協議会	13
老人クラブ連合会	6	しゃんしゃん体操普及の会	13
富桑地区体育会	7	西人権福祉センター	14~15
同和教育推進協議会	8~9	西品治児童館	16
社会福祉協議会	10~11	富桑地区公民館	17~19
青少年育成協議会	11	寄稿・奥付	20
交通安全協会 富桑支部	11		



PHOTO TAKEBE ISAO



「交流・共感・共生のまち ふそう」 会長 西川 照夫

富桑地区のみなさまには、平素より地域の活動にご理解、ご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。

近年地球温暖化の影響で、日本各地で地震、水害等大災害が発生しています。また、今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により、生活が一変してしまいました。この感染症に「うつらない。うつさない。」よう、皆さんが気をつけて日常生活を続けていただきたいと思います。

富桑まちづくり協議会は、「交流・共感・共生」をテーマにして、「人権と福祉のまち」「災害に強いまち」を目指し、それぞれの組織や各種団体が連携して、具体的な諸行事を通して富桑地区を活性化、発展につなげて富桑に住むみなさんが「安全で安心して住めるまち」になるよう取り組んでいます。

引き続き富桑まちづくり協議会に対しまして、皆さまのご理解、ご支援、ご協力をお願いいたします。

防災安全部

防災リーダー研修会

- 『7/7避難所開設の課題 他』 (9/10)
- 『避難所開設の課題への取組み』 (10/29)
- 『千代川の"いざ"という時に備えて～逃げるタイミングを知ろう～』 (11/26)

富桑地区合同防災訓練

- 『避難所開設シミュレーション』 (11/7)
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として参加者を限定



▲ 防災リーダー研修 資料



▲ 避難所開設シミュレーション



▲ 避難所開設シミュレーション



▲ 防災リーダー研修

体育健康部

- 富桑地区グラウンドゴルフ大会 (6/12)
28チーム77人出場
優勝 交通安全富桑支部A
- 富桑小学校相撲大会 (10/29)
金・銀・銅メダル授与



▲ 富桑地区グラウンドゴルフ大会



▲ 富桑地区グラウンドゴルフ大会

新型コロナウイルスのため中止

- 第44回富桑地区大運動会

人権福祉部

- 富桑地区人権講演会 (12/4)
演題 「3つの壁を打ち破ろう！～部落差別解消法に学ぶ差別問題理解の基礎基本～」
講師 奥田 均さん(近畿大学人権問題研究所 特任教授)
- 第17回富桑地区大文化祭 (10/23)
『手話パフォーマンス』 城北高校 ボランティア部 顧問 安藤先生の講演



▲ 富桑地区人権講演会



▲ 第17回富桑地区大文化祭『手話パフォーマンス』

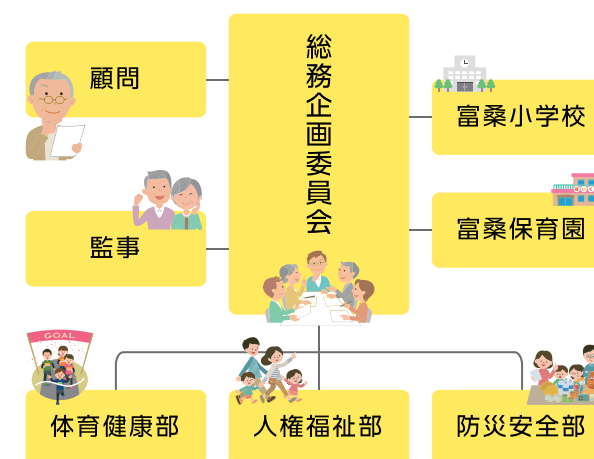


▲ 第17回富桑地区大文化祭 準備の様子



▲ 第17回富桑地区大文化祭 準備の様子

富桑まちづくり協議会組織図



目標「交流・共感・共生のまち ふそう」

- 健康でぬくもりのある優しいまちづくり
- 歴史と文化を大切にするまちづくり
- 人権を尊重し、弱い立場の人を大切にするまちづくり
- 安全で安心なまちづくり



▲ まちづくり協議会ロゴマーク

富桑地区が老若男女みんなで手をつなぎ、住みやすい地域、仲の良い人間関係をつくろうという願いで、「第1回富桑地区大文化祭」の時にこのマークができました。



▲ 第17回富桑地区大文化祭 チラシ

感染防止対策を徹底し、作品展示、スポーツ体験、ステージイベントを開催。

富桑保育園、富桑小学校6年生、城北高校ボランティア部にご出演いただきました。



▲ 作品展示



▲ 鳥取城北高等学校書道部 作品展示



▲ 作品展示



▲ スポーツ体験「モルック」



▲ スポーツ体験「ポッチャ」



▲ 会場全景



▲ 鳥取城北高等学校ボランティア部



▲ 富桑保育園つき組「鳴子おどり」



▲ 富桑小学校6年生「富桑こども太鼓」

2 自治会

会長
西川 照夫

町内会長紹介

2022年3月 現在

行徳1区 中尾 洋一朗
行徳2区 福田 睦史
行徳3区 小林 順吉
千代町1区 飼牛 栄輔
千代町2区 梅木 哲也
千代町3区 古田 平一
元品治 井谷 紀夫

元品治2区 水口 誠
寿団地 西川 照夫
新茶屋 上村 英文
西品治1区 池本 進
西品治2区 中原 靖仁
西品治3区 山田 利保
西品治4区 水口 稔

西品治5区 西川 秋夫
西品治6区 上口 俊文
西品治7区 甲木 由徳
田島2区 岸田 安雄
西品治団地 濱本 豊
平成町 田部 聡
西品治北団地 古田 三雄

2021年度 自治会役員紹介

2022年3月 現在

会長 西川 照夫(寿団地)

副会長 水口 稔(西品治4区) 福田 睦史(行徳2区) 井谷 紀夫(元品治)

監事 中尾 洋一朗(行徳1区) 田部 聡(平成町) 山田 達雄(西品治3区)



▲ 2022年新春懇話会

みんなでつくる みんなのまち

鳥取市自治連合会
パンフレットより抜粋



防犯パトロールや子どもの見守り、夜道を照らす防犯灯の維持管理など、安全なまちをつくっています。また、防犯訓練や避難所の運営、水や非常食の備蓄・管理など、災害時に助け合える、安心なまちをつくっています。



ゴミの集積所、公園の清掃や紙などの資源回収で、快適でエコなまちをつくっています。



子どもや高齢者の見守り、みんなが支えあうまちをつくっています。



子ども会などの活動を通じて、地域の子どもの見守り、育てます。



お祭りや運動会、納涼祭、サークル活動などで、みんながふれあう楽しいイベントを行っています。

自治会とは…

自治会は、一定の区域に住む人々が自主的に構成する任意の団体です。区域内に住んでいる人は、誰でも自治会員になることができます。性別、年齢などの条件はなく、日常生活の中での様々な地域課題を解決し、住民同士が協力・連携して自分たちの町を住みやすくしていくことを目的としています。

“ありがとうございました” 故 武部 功 様

富桑まちづくり協議会役員一同

千代町3区の武部功様が昨年の11月6日に永眠されました。突然の訃報に役員一同ことばを失いました。武部様には町内会長をはじめ、富桑地区自治会並びに社会福祉協議会副会長、公民館写真教室講師等に格段のご奉仕を賜りました。さらに、富桑まちづくりだよりの表紙を飾る写真提供や、地域事業の写真撮影でもお世話になりました。なお、地区大文化祭には特別出展、実行委員としても誠心誠意ご協力頂きました。ここに改めて衷心より深く感謝と哀悼の誠を捧げます。

武部功様、長い間いろいろお世話になり誠にありがとうございました。どうぞ安らかに眠り下さい。

ご冥福をお祈り申し上げます。

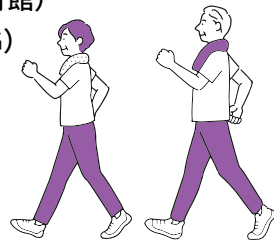
合掌



健康

健康づくり

- 高齢者大運動会 (10/14 産業体育館)
- グラウンドゴルフ (11/9 白兔GG)
- モルック
- 介護予防
- 楽しいゲーム



友愛

ふれあい活動

- 友愛福祉タオル(6施設へ373枚)
- 富桑地区大文化祭参加
- 役員交流研修会 (12/2 山紫苑)



奉仕

奉仕活動

- 街頭共同募金 (10/4)
- 保・小・公民館周辺の除草
- 全市・国一斉社会奉仕
(9/20・21 小学校
2022.3頃予定 公民館・保育園)



▲保・小・公民館周辺の除草

安全安心活動

- 子ども見守り隊
- 安全パトロール
- 支え合い活動
- 高齢者交通安全教室及び特殊詐欺被害防止研修会
(11/18 公民館)



あなたも参加しませんか！

- | | |
|------------|--------------|
| 行徳1区「仲よし会」 | 新茶屋「まんさく会」 |
| 行徳2区「豊友会」 | 西品治「宝寿会」 |
| 行徳3区「親和会」 | 寿団地「ことぶきの会」 |
| 千代町「松風会」 | 元品治「にこにこクラブ」 |

本年度会員数 347名 (2021.4.1現在)

加入のメリット

- ①健康づくり ②友だちづくり ③生きがいづくり ④地域に貢献



富桑地区老人クラブ連合会
ご加入をお待ちしております
☎27-4585(公民館)



会長 古田 真治

「新型コロナウイルス感染症」は今だに私達の生活に大きな影響を与えていますが、感染防止対策をしっかりととりながら行事を実施しているところです。

昨年度よりニュースポーツ体験事業を毎月行っています。参加者が増え、住民の健康意識の向上や健康寿命が延びることを願っています。

これからも体育会へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

活動内容

- 富桑地区グラウンドゴルフ大会 (6/12)

8チーム77人出場

優勝 交通安全協会富桑支部

※まちづくり協議会共催



▲富桑地区グラウンドゴルフ大会

- ニュースポーツ体験
(6～3月 第3金曜日)

- モルック
- ポッチャ
- ほおるん・ビンゴ

延べ 150人 参加
※公民館共催

モルック

- モルック
フィンランドの伝統的なスポーツ。ボーリングに似た競技ですが、50点ピッタリといったチームの勝ちです。

- ポッチャ
パラリンピックの正式種目。ジャックボール(白)に、赤・青のボールを投げたり、転がしたり、いかに近づけるかを競います。



ポッチャ

- ほおるん・ビンゴ
岡山県津山市発祥のスポーツ。ロープで作った格子状のビンゴネット5×5のマスの中にタマを入れてビンゴを狙っていきます。



ほおるん・ビンゴ

新型コロナウイルスのため延期(2022/2/26→3/26)

- 富桑スポーツまつり「富桑地区モルック大会」

新型コロナウイルスのため中止

- 富桑地区大運動会

第64回鳥取市民体育祭

新型コロナウイルス感染症の影響により、得点の競い合いなしの開催(競技順位付けあり、総合得点なし)

オープン参加
ゲートボール・・・2位
女子バレーボール
グラウンドゴルフ
軟式野球



▲市民体育祭 ゲートボール

鳥取市スポーツ推進員のご紹介

本城 睦子 松本 慶太

参加選手
募集中

選手の高齢化が進んでおります…

「若い力」が必要です！
市民体育祭に参加しませんか！

【市民体育祭 競技種目】

卓球、ソフトテニス、ソフトボール、弓道、グラウンドゴルフ、バトミントン、バスケットボール、バレーボール(男・女)、テニス、軟式野球、ペタンク、水泳、陸上

連絡先 公民館 TEL27-4585 まで





「差別を無くする基本」

会長 高田 義昭

富桑地区同推協の活動方針は「富桑地区人権宣言」に謳う交流・共感・共生社会実現の地域づくりです。

お互いを大切にすると人々の中でこそ交流が深まり、共感が生まれます。新型コロナ禍の現在、難しい局面はありますが、だからこそやらなければならないこと、できることがあると思います。

いかなる差別も見逃がすことなく、差別を無くするためには一人ひとりが相手の心の痛みをどれだけ理解でき、相手に寄り添うことができるかにかかっていると思います。基本は、人権侵害で受ける心の痛みを自分のこととして捉え、支えあい、差別を許さない豊かな人と人とのつながりです。このことを肝に銘じ、人権尊重の共生社会実現を目指して事業の推進に努めたいと思っています。皆様の更なるご協力とご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



活動内容

- 富桑地区人権講演会・役員研修会 (12/4)
演題 「3つの壁を打ち破ろう！～部落差別解消推進法に学ぶ差別問題理解の基礎基本～」
講師 奥田 均 さん(近畿大学人権問題研究所 特任教授)
- 市街地ブロック同推協
- 鳥取市地区人権啓発推進員研修会(必修1回 選択研修会数回)
- 西中校区人権教育連絡協議会



▲富桑地区人権講演会・役員研修会

小地域座談会

2021年度 実施状況(2月現在) テーマ『人権が尊重される安全・安心の富桑まちづくり』

実施日	町内会	出席人数	座長	内容
12/5(日)	寿団地	20	西川 照夫	DVD視聴「今そこにいる人としっかり出会う」
1/2(日)	西品治5区	26	西川 秋夫	〃
1/3(月)	西品治4区	15	水口 稔	〃
1/9(日)	田島2区	12	坂根 政代	話し合い「防災と人権」
1/29(土)	元品治2区	10	水口 誠	DVD視聴「知りたいあなたのこと」
2/28(土)	元品治	20	井谷 紀夫	DVD視聴「今そこにいる人としっかり出会う」



▲小地域座談会(寿団地)

人権講演会に出席して

顧問 高嶋 壮司

近畿大学名誉教授奥田均先生の講演会「3つの壁を打ち破ろう！」一部落差別解消推進法に学ぶ差別問題理解の基礎基本―に出席した。その概要と感想の一端を述べる。

2016年12月に「部落差別解消の推進に関する法律」が制定された。この法律をもとに部落問題の解決に立ちはだかる「3つの壁」を打ち破り、差別問題理解の基礎基本を考えてみようと言われた。

1. 部落差別解消推進法のねらい(要旨)

現在もおお部落差別が存在する。憲法の理念にのっとり、部落差別は許されないものであるとの認識のもと、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現を目的としている。

2. 「3つの壁」について

①第1の壁「もうそんな差別なんてない」「あってもたいしたことではない」と言うような差別の現実に対する無視や軽視。

②第2の壁 宿命でないかと言う考え(宿命論)。

これを如何に受け止めるか。今までの取組で差別の実態は「改善」したが「解決」にまで至っていない。「部落を変える」から「社会を変える」へ！

③第3の壁「そっとしておけばいい」「自然に解消していく」という「寝た子を起すな」論(自然解消論)

3. 感想
「3つの壁」は地区懇談会や学習会の中でも度々提起されている。しかし、寝た子は生涯寝てはいない。学校教育や行政で正しく啓発しないと部落問題を差別的に知ってしまう(意識調査から明らか)。この法律制定の意義・目的を認識し、自らの課題として差別をはじめとするあらゆる差別の解消に更なる努力をしなければならないと痛感した。

2021年度 役員紹介(敬称略・順不同)

会長 高田 義昭
副会長 福田 睦史 井谷 紀夫
監事 西川 照夫 河上 賀一
顧問 高嶋 壮司
推進員 岸田 彬靖 福田 睦史
大河原 敏雄 白水 幸子
事務局 平尾 りつ子



交流・共感・共生

富桑地区大文化祭は、富桑地区人権宣言10周年を迎えた2005年、従来の「公民館まつり」と「解放文化祭」を統合し、富桑地区の更なる発展を願って実施される地域の一大イベントです。

富桑まちづくり協議会では「交流・共感・共生」を基盤に据えた、人権尊重の地域づくりを目指しています。

まちづくり協議会 事務局長 福田 睦史

富桑地区人権宣言

21世紀のキーワードは国際化、情報化にともない「平和」「人権」「福祉」「環境」といわれ、とりわけ人権尊重は平和の基礎であり世界の人々の幸せと繁栄に欠くべからざるものとして共通の認識となりつつあります。

私達の鳥取市富桑地区も古くから農業を中心として発展をし、歴史、文化を大切にしながら、心優しく人情あふれる地域として栄えてきました。しかしながら、「同和問題の解決は国の責務であり、国民的課題である」とした同和对策審議会答申から30年が経過した今日、部落差別をはじめあらゆる差別が厳存しています。このような状況に鑑み(かんがみ)、今まさに、富桑地区挙げて人権意識、人権感覚をさらに高め、部落差別をはじめ一切の差別撤廃に向けて、人権尊重の情報発信基地として求められています。

私達の富桑地区の目指す21世紀の街づくりは、すべての人間が人として尊重されすべての人間が人間らしく生きる街づくりです。

今、ここに富桑地区人権宣言を発し、交流・共感・共生をもってお互いの努力により被差別、加差別の立場をのりこえ、反差別社会の実現に向けて邁進(まいしん)する事を宣言します。

1996年6月8日

富桑地区同和教育推進協議会

富桑地区人権宣言が発せられてから25年を迎えました。
この宣言は富桑地区のさらなる発展を目指し、鳥取市で初めて住民の手でつくられたものです。



『福祉』とはふつうのくらしのしあわせ 会長 安達 信義

富桑地区の皆様には、常日頃富桑地区社会福祉協議会の事業、ならびに活動にご協力を頂きありがとうございます。

昨年7月にはコロナ禍の中、東京2020オリンピック、パラリンピックが無事に終わり、その後コロナが急速に減少しましたが、変異株のオミクロン株が急速に拡大しております。

社協の活動もその都度、変更を加えながら運営をしてきました。そのため本年度は、『ふれあいデイサービス』『地域ふれあい・いきいきサロン』『歳末たすけあい』事業にとどまりました。

早くコロナ禍の終息を迎え、地域の皆様と共に福祉活動が展開できますようお願いしております。

活動内容

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. ふれあいデイサービス事業 | 6. 地域ふれあい・いきいきサロン事業実施の協力 |
| 2. 食事サービス事業 | 7. 各種福祉活動への支援 |
| 3. 世代間交流事業 | 8. 心身障がい者団体への支援と交流 |
| 4. 福祉関係研修会の開催 | 9. 広報誌の発行 |
| 5. 敬老事業 | 10. 共同募金活動への協力 |

①福祉の向上 ②地域の絆を深めて孤立をなくす ③社会的弱者への支援対策 ④サロンの充実

ふれあいデイサービス事業

高齢者が楽しいひとときを過ごす集いの場 毎月第2火曜日 9:30～ 富桑地区公民館



▲7月 殿ダムと国府町を巡る



▲9月 日常生活を見直しましょう



▲12月 千支を作りましょう

金婚・ダイヤモンド婚
おめでとうございます

金婚 9組
ダイヤモンド婚 4組

鳥取市主催記念祝賀会 中止
対象者には記念品を贈呈

益々のご健康とご多幸をお祈りいたします。

敬老会事業

各町内会が行う敬老会の助成

対象者 495人(75歳以上)

歳末たすけあい事業

ひとり暮らし高齢者支援
『カップ麺』を民生委員さんの協力で配布

対象者148人

ふれあい・いきいきサロン事業

今年度21サロンが様々な工夫をしながら運営し、『地域のつどいの場』となっています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- 食事サービス事業
- 世代間交流事業
- となり組福祉員研修

追悼

当会の副会長として諸活動に取り組んでくださった武部功さんが昨年11月に逝去されました。やわらかい笑顔で常に周囲の方々への気遣いをしてくださいました。

ここに改めて心からの感謝と哀悼の意を表します。

活動内容

- 登下校時のあいさつ運動の推進(年間)
- 保育園折り紙事業(8月・12月)
- くわのみ年末お楽しみ大会(12/28)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- むらまち交流～佐治町河本集落との交流事業～
- セタコンサート



▲くわのみ年末お楽しみ会

活動内容

- 交通安全運動(春夏秋冬)
- 街頭指導(通行する車へ呼びかけ)
- 毎朝の登校時交通安全指導
- 小学校あいさつ運動と見守り隊
- 各種イベント交通整理
- 交通安全教室、自転車教室
- 生活安全教室



▲高齢者の交通安全教室

活動目標

民生委員は民生委員法により設置が定められ、職務の重要性に鑑み、厚生労働大臣から委嘱され、その身分は、非常勤の特別職の鳥取市公務員とされています。民生委員は児童委員を兼ねることとされています(児童福祉法第16条)。また、子どもや子育て家庭への支援を専門に担当する主任児童委員は、児童委員の中から厚生労働大臣により指名されます(児童福祉法第16条)。その任期は一斉改選から3年で、民生委員・児童委員はボランティアとして活動しています。

民生委員・児童委員は、自らも地域住民の一員として、住民の生活上の様々な相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たすとともに、高齢者や障がい者世帯の見守り役や安否確認などにも重要な役割を果たしています。

ぴよぴよサークル

毎月第2水曜10:00~11:00
西品治児童館

代表 河上 博子(主任児童委員)

今年度も感染拡大防止のため、予約・定員制とし毎月5~10組の参加で行いました。

ぴよぴよサークルは、乳幼児・保護者の交流を目的とし、年12回、リズム遊びや体操、生え始めた歯の話や食べ物の話など、親子で楽しめる内容となっています。

わずか1時間ですが、はじめに主任児童委員の絵本の読み聞かせ、そして手遊び、次にゲームや工作をし、保護者同士の交流が行われています。

春からまたガラリとメンバーが変わります。

富桑地区近隣にお住まいの方も大歓迎。恥ずかしがり屋さんもぜひお越しください。お待ちしております。



基本姿勢

1. 社会奉仕の精神
2. 基本的人権の尊重
3. 政党・政治的目的への地位利用の禁止

基本的性格

1. 自主性
常に住民の立場に立ち、地域ボランティアとして自発的・主体的な行動を行います。
2. 奉仕性
誠意を持ち、地域住民と連帯感を持って、謙虚に、無報酬で活動を行うとともに、関係行政機関の業務に協力します。
3. 地域性
一定の地域社会(担当区域)を基盤として適切な活動を行います。

活動の原則

1. 住民性の原則
自らも地域住民の一員である民生委員・児童委員は、住民に最も身近なところで住民の立場に立った活動を行います。
2. 継続性の原則
福祉問題の解決は時間をかけて行うことが必要です。
3. 包括・総合性の原則
個々の福祉問題の解決を図ったり、地域社会全体の課題に対応していくために、その問題について包括的、総合的な視点に立った活動を行います。

はたらき

1. 社会調査 実態、福祉需要の把握
2. 相談 相手の立場で相談に
3. 情報提供 内容を的確に
4. 連絡通報 必要な対応のつなぎ役
5. 調整 サービスの支援
6. 生活支援 支援体制
7. 意見具申 関係機関へ具申



地区担当者

行徳1区	高田 澄江	新茶屋・元2	岸田 光世
行徳2区	福楽 一男	西品治1・2・3・6 北団地・田島2区	中村 登貴子
行徳3区	谷口 聡	西品治4・5・7区 県住・平成町	西川 秋夫
千代町	古田 啓子		
寿団地	上住 研治	主任児童委員	河上 博子
元品治	井谷 紀夫	〃	水口 正子

活動目標

- ① 一人ひとりが自分に合った運動を見つけ、楽しみながら実践できるよう習慣化を目指しています。
- ② フレイル予防の知識の普及を図り、運動習慣づくりの大切さを知ってもらう。

活動内容

- 早朝歩こう会
(7・8月 日曜日 6:30~ 千代河原時計台駐車場)
- 健康を守る生活教室(9、11、12月)
- ココカラ体操(7~12月)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- 健康講演会(1/23)



▲健康を守る生活教室

会長 井谷 明美 副会長 西上 昌男 安達 友子 推進員 21名

活動内容

- しゃんしゃん体操活動
- グラウンドゴルフ(11/12)
- クリスマス会(12/24)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- 野外活動(4月)
- 富桑地区大文化祭への出演(10月)



▲グラウンドゴルフ大会

介護予防を目的とし足腰を鍛え、寝たきりにならないよう多くの方の参加をお待ちしています。

講習会 第2・4金曜日 13:00~14:00 富桑地区公民館





所長
松本 広幸



「あらゆる差別解消と福祉の充実へ」 所長 松本 広幸

富桑地区の皆様には、日頃よりセンター事業にご支援・ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

令和3年4月の異動で当センターに赴任しましたが、地域の実状も認識不足で不十分な対応となり、地域の皆様に大変ご迷惑をおかけしたと深くお詫び申し上げます。

鳥取市では、「鳥取市地域福祉推進計画」から「重層的支援体制整備事業」へ移行の予定であり、人権と福祉の両面をあわせもつ「人権福祉センター」の役割は大きく今迄以上に情報発信・共有・連携をより強固なものとして、地域・関係機関と共に課題解決に向けた取組を推進する事が重要と感じております。

差別解消・福祉の充実に努め、地域から信頼され、気軽に相談できる人権福祉センターとして、微力ではありますが、職員一丸となり、明るく住みやすい地域づくりに取組んでいきたいと思っております。

今後とも地域の皆様のご理解・ご支援・ご指導を賜りますようお願い致します。



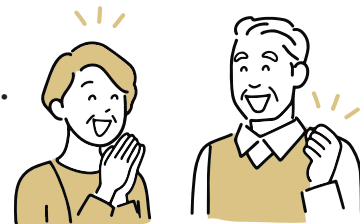
2021年度テーマ

人としての人権を大切に、
鳥取市地域福祉推進計画と
連動した「共生社会」の提案

鳥取市西人権福祉センターは社会福祉法第二条に基づく社会福祉施設として、地域住民の生活課題に応じて実態調査や、研究事業をはじめ、各種相談事業、啓発及び広報活動、地域福祉事業、地域交流事業など推進する開かれたコミュニティーセンターとして事業に取り組んでいます。

相談事業

地域に根差し、身近な相談窓口として多様化する相談内容に、地域・関係機関・行政と連携して、様々な相談対応を行っています。



人権啓発事業

人権講演会 部落問題をはじめとする人権課題解決に向けて啓発

「3つの壁を打ち破ろう！～部落差別解消推進法に学ぶ差別問題理解の基礎基本～」と題し、近畿大学 名誉教授 奥田 均さんにご講演いただきました。

部落差別の認識が法律によって認められましたが、部落差別を解消するために3つの壁を打ち破らなければならないことを学びました。



▲人権講演会

地域福祉事業

サテライト事業(各地区へ出張事業として開催)

介護予防・自立支援のための体力づくりと地域コミュニティの育成促進

いつまでも健康でいきいきとしあわせに生活していくための介護予防教室です。



▲サテライト事業

孤立防止ママ運動教室

リトミックを通して親子の触れ合い、コミュニティづくり、育児の孤立防止を図ると同時に、子育て相談教室も実施しています。



▲孤立防止ママ教室

「地域福祉講座」、「人権と福祉のまちづくり講座」

地域福祉の人材を育成するボランティア育成事業

障がい者、高齢者、子どもたちが住み慣れた地域で暮らしていくため、地域を中心として助け合い、支え合うまちづくりを推進するための地域福祉の啓発。

2021年度開催内容

7月7日
「ひきこもりサポーター育成研修会」 講師 山本 満さん

11月20日
「人生100歳時代～老いを元気で楽しく～」 講師 國松 善次さん

12月8日
「重層的支援体制整備事業について」～ふそう支え愛ネットワークのかかわり方～
講師 竹本 匡吾さん



▲7月7日 地域福祉講座



▲12月8日 地域福祉講座

特色あるコミュニティ事業

子ども食堂

子どもたちのコミュニティの場として、季節やイベントに合わせた食事提供をしています。



ささえあい食堂(地域食堂)

西人権福祉センターと富桑地区公民館を会場に毎月1回、弁当の持ち帰りで開催しています。
ささえあい食堂を必要とされている方は、年々増加傾向にあります。





毎日の来館もさることながら、イベントになるとたくさんのお子どもたち、親子が来館し、とてもとてもにぎやかな1年でした。

コロナ禍で「できること」「できないこと」「やり方を変える」を考えながら児童館活動を行いました。まだまだ収束が見えない状況ですが、臨機応変に楽しい活動を行っています。

2021年度活動写真



▲ JSK(じどうかんスポーツ交流会)



▲ 鳥取民話語り



▲ ちまきづくり



▲ びよびよサークル 8月「みずあそび」



▲ よるのじどうかん 星の体験学習



▲ おもしろサイエンスLabo



▲ じどうかんでレッツハロウィン



▲ メリクリライブ



▲ やきいも大会

2021年度児童館活動 (2022.2現在)

- J.S.K じどうかんスポーツ交流会(4/17)
- お宝さがしクエスト(5/15)
- アンブレラスカイ(6/3~9)
- ちまきづくり(6/12)
- あんしんあんぜん教室「じてんしゃシミュレーター」(6/26)
- ちまきづくりmini(7/3)
- おもしろサイエンスLaobo(7/31)
- 小水あそび(8/3)
- 超水あそび[規模超縮小版](8/7)
- よるのじどうかん 星の体験学習(8/21)
- 文化祭作品づくり(9/9~10/9)
- ハロウィンウィーク(10/26~29)
- じどうかんでレッツハロウィン(10/30)
- やきいも大会(11/20)
- 防災めしをたべようデー(11/27)
- オンライン水族館「すみだ水族館へいこう！」(12/7)
- メリクリライブ(12/19)
- 大掃除でもっちもち(12/25)
- 木のおもちゃであそぼう！(1/7~20)
- けん玉広場 in にしほんじじどうかん 2/19

- 随時
創作活動(プラ板キーホルダー・プレゼントづくり・たなばた工作・ハロウィン工作・クリスマス工作・干支工作 など)
Kosodate Cafe

- 定期
とっとり民話語り(6/19・9/18・12/4)
出前じどうかん(富桑保育園 絵本の読み聞かせ)
びよびよサークル(富桑地区民生・児童委員協議会 / 富桑地区公民館 / 西人権福祉センター 共催)
ささえあいこども食堂(西人権福祉センター・西品治児童館)

- 12児童館合同イベント
とっとりこどもまつり
じどうかんフェスタ2021
新因幡の手づくりまつり



「コロナ禍の公民館活動」

館長 福田 睦史

コロナ禍も2年目となり、感染拡大の時期を予想し内容を検討しながら事業を計画し実施してきました。感染拡大防止対策にご協力いただき、誠にありがとうございました。

また、参加人数の制限により、人と人の交流や仲間づくりの為のサークル活動などにも大きく影響しました。公民館の役割は『つどう・まなぶ・むすぶ』です。今更ながらあたりまえの日常がどんなに有り難いことだったか痛切に感じます。

新たな活動形態を模索し、地域と住民のニーズを捉え、新しい『つどう・まなぶ・むすぶ』を求めて取り組んでいきたいと思っております。

これからも公民館活動へのご支援、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

地域の仲間づくり事業

- ココカラ体操(6回)
- 富桑映画(21回)
- くわの郷マネジメント
- ニューススポーツ体験(計9回)
- レコード鑑賞会(7/30、10/29)
- グラウンドゴルフ(11/5)



▲ レコード鑑賞会



▲ ニューススポーツ体験会(モルック)

子どもと大人のふれあい事業

- 児童館支援事業
アンブレラスカイ
超水遊び(規模超縮小版)
ハロウィンウィーク
- 富桑保育園対象
クリスマス折り紙(11~12月)
- くわのみ児童クラブ対象
年末お楽しみ大会(12/28)

※コロナ禍により事業対象者を限定させていただきました。



▲ アンブレラスカイ



▲ 年末お楽しみ大会

人権啓発事業

- 福祉講演会(11/20)
演題『人生100歳時代～老いを元気で楽しく～』
講師 國松 善次 さん(健康・福祉総研理事長 元滋賀県知事)
- 人権講演会(12/4)
演題「3つの壁を打ち破ろう!～部落差別解消法に学ぶ 差別問題理解の基礎基本～」
講師 奥田 均 さん(近畿大学人権問題研究所 特任教授)



▲ 『人生100歳時代～老いを元気で楽しく～』

特色ある公民館活動

おいじたく『老いを豊かに』

資産やモノを整理する終活ではなく、これからの人生を自分らしく生き生きと過ごすことを目的に、鳥取西地域包括支援センターにご協力いただいた事業です。

- 自身の振り返りと未来予想(9/27)
- 健康のこと、フレイル予防、認知症予防、成年後見制度について(11/5)
- 私のこころづもり(12/6)



とっとりの学びどころ

〈本池美術館と美保神社他 2021年11月15日(月)〉

8:00 小学校校庭横出発



10:00 本池美術館

世界初のレーザーアートミュージアム現代レーザーアート作品が約100点以上展示されています。



11:10 弓ヶ浜(昼食)



12:30 美保神社・美保関灯台

本殿は文化10年(1813年)の造営で、三穂津姫命と事代主神の二神を祀ります。全国3385社ある恵比寿様の総本宮です。



14:00 とっとり自然環境館

再生可能エネルギーを体感しました。



17:30 小学校校庭横到着

〈出雲大社と一畑電車 2021年12月1日(水)〉

7:30 小学校校庭横出発



10:17 松江しんじ湖温泉駅

鳥根県の観光キャラクターの貸切電車『しまねっこ号』に乗って出雲大社駅へ!



11:11 出雲大社駅



11:30 島根ワイナリー(昼食)

地元産の芳醇なぶどうで作る島根ワインが試飲できます。



12:35 出雲大社

全国の神々が集まる出雲大社の神在月は11/14~12/21。ガイドさんの説明がありました。



17:30 小学校校庭横到着

健康を守る生活教室 ―日々の中に免疫力を高める鍵がある―



鳥取市保健所の栄養士・保健師と一緒に考えアドバイスをいただきました。

- 食中毒、熱中症予防(6/24)
- 加齢にともなう食事に関する機能の変化(11/29)
- しっかり食べて低栄養予防(12/13)

その他

コロナ禍ということもあり、もう一度、地域への関心を高め、理解を深める学習を行いました。

- 麒麟獅子舞と聖神社(6/2)
- 地域の歴史をめぐる『玄忠寺』編(7/21)
- 千代川の"いざ"という時に備えて
～逃げるタイミングを知ろう～(11/26)



▲地域の歴史をめぐる『玄忠寺』編

趣味の教室・サークルの紹介

曜日	時間	教室・サークル名
月	月3回 16:00	謡曲・仕舞
	第2 19:00	ピラティス
	第2・4 13:30	太極拳
火	毎週 13:00	安来節
	第3 13:30	秋桜句会
水	第1・3 13:00	詩吟
	第1・3 13:30	ほっこりピアノ
	第2・4 13:30	フォークダンス
木	第2・4 9:00	囲碁
	第2・4 10:00	華道池坊
	第1・3 10:30	オカリーナ
金	毎週 20:30	民踊
	第1・3 10:00	ヨーガ
土	第1・3 13:00	表装
	第3 10:00	富桑の歴史と文化を語る会

随時各教室の様子を見学・体験できます。
お問合せは公民館まで。

公民館のご利用について

【事務室開室時間】

平日 8:30~17:00

事務室 閉室日 土・日曜日・祝日

休館日 12/29~1/3

- 事務所開室時間外にも館内施設をご利用いただけます。
その際は鍵を受け取りにおいでください。
- 使用後は日誌の記入、後片付け、清掃、消灯、戸締まりをきちんと行ってください。
(ごみの分別にご協力をお願いします。)
- 公民館利用者以外の無断駐車は固くお断りします。

寄稿

心のつながりを感じながら

富桑保育園
園長 徳安 友代



本年度もコロナウイルス感染対策のために園の様々な行事の中止や人数の制限をせざるを得ない状況でしたが、感染が落ち着いている時期には富桑地区大文化祭に2年ぶりに参加させていただくことができました。久しぶりの地域の方との集いの場では、作品展示、年長児の鳴子踊りの披露もでき、こどもたちにとって貴重な体験の場となりました。参加者の皆さんの笑顔や声掛けに、園だけではできない体験や、人とのふれあいをさせていただけたこと、保育園にいつも心を寄せていただいていると感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

感染対策は続きますが、地域の皆さんとの心のつながりをよりどころとし、子どもの育ちを保証していくとともに、

保護者の就労を守っていく場としての役目も果たしながらコロナ禍を乗り越えていきたいと思っております。



寄稿

笑顔あふれる学校をめざして

富桑小学校
校長 下田 智美



「笑顔の花はマスクごしでも満開だ」

これは、本年度の本校の「スマイル標語(人権標語)」の最優秀賞となった5年生児童の作品です。この標語に象徴されるように、コロナ禍においてマスク着用があたり前の日常になった今、大切にしたいのは、マスクの下の子どもの表情や思いです。子どもたちの笑顔は、何にも代えがたい宝物です。

本年度も、コロナ禍において何が子どもたちにとって最善かを判断基準としてさまざまな行事や活動を工夫しながら行ってきましたが、全校で行う恒例の「芋の苗植え」「芋掘り」、2年生の「まち探検」、総合的な学習の時間における4年生の「広げよう やさしいまち」や5年生の「相撲の歴史

調べ」など、地域に学ぶ学習も、地域の皆さまのご協力のもと行うことができました。

今後とも、学校、家庭、地域がしっかりと連携をとり、子どもたちの生きていくうえでの土台に「ふるさと富桑を愛する心」を育みながら、笑顔あふれる学校をめざし、学校教育を推進していきたいと思っております。



編集後記

長年、地域の諸活動にご参加いただき、カメラマンとして富桑の四季折々を写真に収めていた武部さんが昨年お亡くなりました。この第14号の表紙の写真は「まちづくりだよりの表紙に」と預かっていた写真の中の1枚を使用させていただきました。いまや富桑を象徴する風景となった鳥取環状線に繋がる「えがお橋」にかかる虹。コロナ禍でもどんな状況でも、いつでも希望の虹がかかっている、そんな富桑地区であってほしいと思います。
奥田 一仁

富桑まちづくりだより
第14号
表紙題字 東郷 平八郎
表紙写真 武部 功

発行日 2022年3月25日

発行 富桑まちづくり協議会

発行人 西川 照夫

お問合せ 富桑地区公民館
Tel.(0857)27-4585

富桑地区Webサイト
リニューアルしました

